



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2018年7月8日(日) 9:30~12:00(曇り)

参加者 一般：1名(うち子ども0名)、

指導員：1名

テーマ 「川原で虫を探そう」

前日まで雨が続き、上流の岐阜県では特別警報が発令されるほどの大雨だったので、タワー北側の木曽川南派川は増水し、茶色に濁った水が勢いよく流れていました。いつも歩く川原のネムノキは2m程の水の中に立っていました。初めて見る光景です。

天気の良いか参加者は2人でしたが、堤防上のコースを中心に、この日のテーマの虫などを見ながら回りました。

樹液は幹から出ていることが多いのですが、地上を這う根から樹液の出ているコナラがあり、そこが昆虫酒場となってルリタテハとキタテハが集まっていました。

川原には新しくキツネの巣穴ができていました。元の巣穴は4月に周りの土砂で埋められ、ゴールデンウィークに行事用の駐車場として使うため碎石を入れて締め固められていましたが、その傍に掘られていました。キツネと公園管理者のイタチごっこはいつまで続くのでしょうか。巣穴の周りにはクズの蔓が伸び始めていますので、秋の草刈りが実施されるまではキツネの天下が続くものと思われます。

この日の特筆はいつも回る大野極楽寺公園で数株のツリガネニンジンの花を見たことです。丘陵地の海上の森や善師野ではお目にかかっていますが、ここで見られるとは思ってもみませんでした。4年間もこのコースを回っていて、なぜ今まで気づかなかったのか不思議に思いましたが、5日後に別件で再び訪れてみて、その理由が分かりました。公園は管理のため草刈りをしますが、今年は雨が続きその作業が延期になり、この日に草刈が行われ、地上5センチ程度以上の草はすべてなくなっていました。昨年までは草刈後に回っていたので、ツリガネニンジンの姿が見られなかったのです(納得!!)。草刈前の6月にはまだ花が咲いていないので気づかなかったのでしょうか。今回は草刈前のちょうどたいいイミングで見られ幸運でした。

ここは平地の単調なコースのように思われますが、フジカンゾウなど他所で見かけない植物もあり、気をつけて見ると新しい発見もあるものだと感じました。(報告：齋竹)

<その他観察できたもの> 鳥：ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、モズ、ダイサギ、カワウ、ホオジロ、ハクセキレイ、アオサギ、ムクドリ、シジュウカラ、キジバト、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジ(声)、オオオシキリ(声)、ウグイス(声)、コジュケイ(声) 両生類：ウシガエル(声) 虫：シオカラトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、クロイトトンボ、ツマグロヒョウモン、ゴマダラチョウ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミ、ヒメウラナミジャノメ、セイヨウミツバチ、ゴマダラカミキリ、ニイニイゼミ(声) 花：タイサンボク、ブタナ、オオキンケイギク、コウゾリナ、ニガナ、ノアザミ、ヒメジョオン、ハキダメギク、オオニワゼキショウ、セイヨウミヤコグサ、シロツメクサ、ネムノキ、ヤブカンゾウ、ハンゲショウ、アメリカネナシカズラ、イヌガラシ、ツユクサ、トキワハゼ、ミソハギ、オオフタバムグラ



(大雨で増水した木曽川南派川)



(昆虫酒場)



(新しいキツネの巣穴)



(ツリガネニンジン)



(ヒメウラナミジャノメ)